



なるほどなっとくニュース

県立山口博物館
学校地域連携担当

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立博物館ホームページでダウンロードすることができます。

やまぐちはくぶつかん こふん しゅつどひん 山口博物館にある 古墳からの出土品

古墳とは、古代の王などのお墓のことです。3世紀後半から6世紀後半にかけてたくさんの古墳が築かれ、この期間を「古墳時代」とよんでいます。

山口博物館では、市内の古墳からの出土品が展示してあります。館外の展示につきましてはいつでも見学することができますので、ぜひ実物をご覧ください。

ちようほうばんかわとじたんこう
長 方 板 革 織 短 甲



全国でも珍しい、パーツが全部そろっている胴を守る鎧です。いっしょに、頸周りや上腕部を守る頸鎧と肩鎧も出土しています。

しらいしちやうすやませつかんぼぐん
白 石 茶 白 山 石 棺 墓 群



宅地造成のため白石地区から博物館に移築されました。弥生末期から古墳前期にかけての石棺の形態の変化が分かります。

くりぬきしきふながたせつかん
削 抜 式 舟 形 石 棺



縄掛突起のある珍しい石棺で、県有形文化財に指定されています。山口盆地をどうぞつじよせいしゆちようひつぎ統率した女性首長の棺だそうです。

ここで発掘されました

ここで発掘されました

てんじんやまこふんやまぐちしよしき
天 神 山 古 墳 (山 口 市 吉 敷)
5世紀前半頃の円墳。



※吉敷交差点から西へ700m

山口博物館

あかづまこふんやまぐちしあかづまちよう
赤 妻 古 墳 (山 口 市 赤 妻 町)
5世紀前半頃の古墳。跡地のみ。



※赤妻バス停から南へ100m



山口博物館では、10月12日(日)に「山口市内の遺跡めぐり」を計画しています。みなさんも、身近なところに古墳があれば、見学してみるといいですね。